



第2学年歩く会

2月6日(木)の朝は今年一番の冷え込みでした。学年生徒会の進行で出発式を行った後、2年生は元気に常澄中を後にしました。それぞれの表情は、「立志のための小旅行」に行ってくるにふさわしい晴れ晴れしいものでした。

先ずは、学区内を歩きます。生徒たちが生まれてくるはるか前に廃線になった海浜鉄道跡の路を列車のごとく力強く進みました。道路を横断する箇所では、先生方が先回りして生徒たちの安全確保に奔走。お母さま方にも支援していただき、大変ありがたかったです。

竹隈市民センターでトイレ休憩。全員、体調不良を訴えることなくまだまだ活気あふれる表情。トイレや給水をさっと済ませ再出発です。滞在時間は、わずか15分間でした。

目指すは2月4日に開通したばかりの大手門及び弘道館。また、その界限は、水戸市の文教地区とも言える高校・中学校・幼稚園などがひしめくエリア。まさに、自分の進路について真剣に考えることのできるテーマパーク！(少し大げさですが・・・)さて、大手門に到着。その古き新しき威風堂々たる姿に気後れするような畏怖の念を抱き、思わずため息が出ました。新しい木材のにおいが鼻をくすぐります。水戸の新しい魅力を目と心でしっかりと感じられた瞬間でした。

旧県庁を通り抜け、水戸第二高等学校前を通過。女子生徒は興味津々で正門から校舎を観察していました。まもなく、タワーを発見し、歓声の聲が上がりました。水戸芸術館に到着。クラスごとに集合写真を撮ったり、お家の方が「がんばって！」の思いを込めて作ってくれた弁当を食べたりしました。また、通常は100円かかるタワーへの入場は、無料です。クラスごとにエレベーターで展望台に上り水戸の街を楽しみました。全員、まだまだ元気です。予定より10分遅れての出発です。

復路では、再び圧倒されながらも西側から大手門をくぐり、水戸第一高等学校内の薬医門を見学しました。ここでも水戸の歴史に触れることができました。歴史的に価値のある門をくぐる度に未来の自分に会えるような気がしたお子さんがいたのでは・・・

往路とは違い、友達とのおしゃべりも少なくなりました。竹隈市民センターを過ぎてからは、さすがに疲れた表情を見せる子も増えました。歩くスピードは全体的に大幅ダウンです。若干の生徒が路肩に座り込む場面もありましたが、クラスの仲間に声をかけられ最後の気力を取り戻します。稲荷第二市民センターでは、先生から励ましの言葉とアメ1個をもらいラスト3キロのエネルギーをいただきました。

そして予定より、25分遅れてのゴール・・・さすがに全員、疲れきった表情。教室では、お母さん方の温かい気持ちがあっつりと溶け込んだ、最高の豚汁をいただき、寒さと疲れを一気に吹き飛ばしました。生徒たちと一緒に歩き、励まし、支援してくれましたお母さま方、また、前日準備から当日夕方までおいしい豚汁づくりに携わってくれたお母さま方、この場を借りて深い感謝の意を表します。本当にありがとうございました。



